

議会だより

No.79

平成23年(2011)
11月15日発行

ぎやかに

さわやかに 歴史と未来の 出逢うまち



上野のマスコットキャラクター
円心くんとエイトちゃん

9月定例会

町長突然の辞職	P.2
平成22年度決算認定	P.3
付託審査報告及び特別委員会報告	P.4
全員協議会報告	P.5
提出議案に対する表決	P.6
モニターの意見	P.7
一般質問	P.8~11
変わりゆくわが町	P.11
最後の運動会	P.12



平家まつりにぎやかに開催 (10月2日)



▲平家塚(小野豆)での法要

▶ステージでのイベント(高田小学校)

町長突然の辞職！

9月定例会は9月6日から15日まで開催され、諸報告、6名の議員による一般質問に続き、同意1件、報告1件、平成22年度一般会計及び特別会計決算認定11件、議案6件、平成23年度一般会計及び特別会計補正予算8件が上程され、慎重審議の結果すべて原案通りに可決した。請願1件は総務文教常任委員会で審議のうえ本会議で可決、国へ意見書を提出した。議会の最終日に山本町長が辞表を提出し、10月5日付けで退職することを表明した。

10月11日に臨時会が開催され、3議員の辞職に伴う副議長選挙及び事務組合等の委員選任が行われた。また専決処分案件2件が承認された。

山本町長が任期の4分の3以上を残し突如辞任した。辞意表明は9月14日付神戸新聞にスクープ記事として報じられた。記事によると、新聞社の取材に対し「自分以外に世話をする者がおらず、(家族の)介護に専念したい」と答えたとのことである。辞職願は15日朝山本守一議長に提出され、即日選挙管理委員会へ通知された。15日は9月定例会最

町長挨拶についての質疑応答

工藤 崇議員

問 任期途中の退職は身勝手だ、副町長人事について12月議会に上程することだ。3週間以上町長・副町長が居ない状況を分っていたか。介護だけの問題か。

答 医師とも相談し、一昨日決心した。

問 議会・職員等に話した後報道関係に示すのはわかるが、なぜ報道機関が先になったか。

答 神戸新聞については、私は知らなかった。

問 町民の期待を振り捨てることに対し心は痛くないのか。

村上 昇議員

問 後を職務代理者に任せることになるが問題がある。あなたを推薦した人達をばかにしている。その辺をはっきりせよ。

答 心から謝りたい。

大政 正明議員

問 神戸新聞の記事の冒頭は関係者であるが、後は自分で答えている。また今朝の新聞では在職中の成果にも言及している。実は、今日はある議員に賛同し不信任を出す予定だった。5項目の理由のうち

3項目は法律に抵触する件。2項目は公人としての道義的責任に関する件だ。これ迄の議会で議論してきたことが、今朝の記事に出たことで終るのは議会を愚弄している。どう考えるか。

答 神戸新聞の取材は受けていない。朝刊に出ることも認識していなかった。

問 もう1点聞く。湯田温泉で職員が賭博行為をしていたこと、町長もそれを知っていたと聞く。どのように調査をして処理をしたか。

答 投書があり調査した。或程度の人数がいることも判っ

た。職員の懲戒処分に関する基準という規則があり、それに従い厳重注意処分をした。

問 町の施設では、職員は庁舎内と同じ意識で身を処し行動する必要があるが。

答 確かにきちっとした処し方をしなければならぬ。

問 奥さんの介護で辞めると言うことをはっきり聞かせてほしい。

答 私しかほかにみるものがないと思っている。

同意案件

(教育委員会委員)

住所 船坂946

氏名 石原元秀

生年月日 昭和25年4月3日



決算認定

(単位：円)

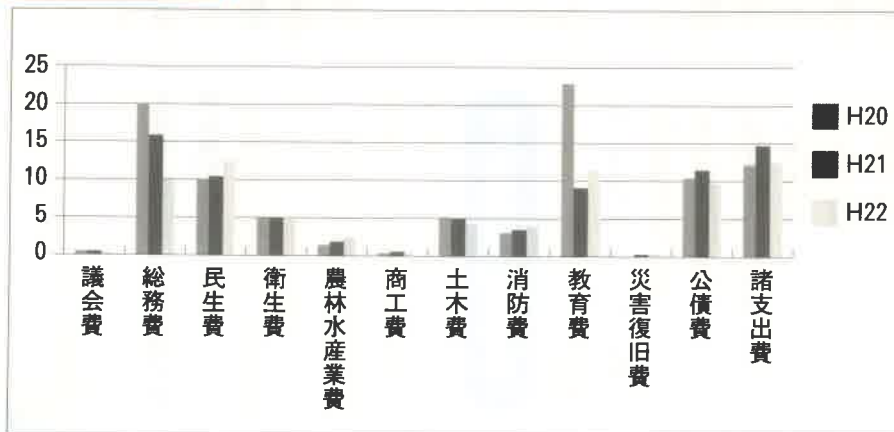
平成22年度決算

会計名	歳入	歳出
一般会計	7,467,105,835	7,310,723,011
特別会計(水道事業除く)	4,918,381,724	482,074,454
国民健康保険(事業勘定)	1,791,102,547	1,736,591,684
国民健康保険(直診勘定)	87,838,481	77,262,738
老人保健医療事業	32,872	18,448
後期高齢者医療事業	22,838,450	22,837,136
介護保険事業	1,457,508,614	1,453,696,521
農業集落排水事業	325,372,193	34,966,355
公共下水道事業	797,135,801	790,676,882
公営墓園事業	28,027,528	28,025,883
ケーブルテレビ管理運営事業	81,273,586	6,141,424
簡易水道事業	147,251,652	146,588,383
水道事業(収益的収入及び支出)	390,905,200	349,925,571
水道事業(資本的収入及び支出)	241,313,688	52,038,855

特別会計内訳

一般会計の内訳(歳出)

(単位：億円)



一般会計・特別会計審査の意見書

指導事項

○町税・特別会計を含む未収額は3億1357万円になる、税の公平負担、財源の確保の観点から一層の徴収努力を図

監査委員

審査報告に対する

質疑応答

工藤議員

問 不納欠損を無くすために早めに手を打つように求める。

答 滞納の兆候をすばやく捉え早めの手を打ち、法的手続きや競売をより迅速に行うよう指摘した。

意見 差押さえ物件の換価金額は約256万円で努力が認められる。悪質滞納者は町全体の福利厚生に悪影響を与えるのでより厳しい指摘を求める。

大政議員

問 平成20年度から22年度にかけて財政調整基金繰入金が減

少している。繰入金的大幅な減少について考えは。

答 多角的に検証のうえ予算を執行し、不測の事態に備えるよう備蓄を求めたい。

問 前監査では備品管理、在庫管理に関する報告があったが今回は無いが。

答 今後各備品の細かなところまで監査していきたい。

藤本議員

問 職員に対し、今後更に節減合理化の努力を望むとある。

答 更なる職員の意識改革を図るよう求めたい。

井口議員

問 経常収支比率、公債費比率は町村の一般的な数値を超している。今後どうするかを具体的に記載すべきだ。

答 指摘の点を踏まえ対応する。

問 4日間で審査はできるのか。

答 4日間が妥当かどうかは判断できる状況ではない。

付託審査報告

総務文教常任委員会

(9月9日～13日開催)

30人学級実現と義務教育費
国庫負担の増額を

現行40人学級を30人以下
学級にすること、義務教
育費の国の負担を増額す
るよう求める意見書を国に提
出することを求める請願書
が出された。

当委員会は紹介議員、請
願者の意見を聞き慎重審議の
結果多数決採決を行い、3
対2で採択すべきと決した。
〔質疑応答〕

問 この請願は毎年出てい
るが、当委員会が毎回申し
添えた意見の引継ぎはされ
ているのか。

答 引継ぎはしている。
問 30人であればいいとい
う根拠が不明。

答 学級崩壊等の問題に適
切な対応ができ、きめ細か
な指導を行い問題解決を
図るには少人数学級が良い。

問 OECD諸国がどうか
ではなく、現場の教師の課

題や思いがうかがえない。

答 超過勤務を48時間ぐら
いし、部活動指導、生徒日誌の点検やテ
ストの採点などをとする。生徒指導
に専念できるように請願している。

平成22年度上郡町一般会計決算を認定
当委員会は次の意見・指摘事項
を付し、本会計決算は全会一致で
認定すべきと決した。

〔意見・指摘事項〕
・「主要施策に関する説明書」は
決算年度の報告に対応していな
い。積年の成果は決算年度と分
けて記載されたい。

・「主要施策に関する説明書」は
事業の目的、達成手段、判断結
果等の記載がなく、決算認定に
供する説明としては不備である。
・事業の目的、達成手段、達成判
断方法については、予算上程時
に施政方針等で示すべきである。
・予算の流用が多く、検討・改善
されたい。

特別会計ケーブルテレビ管理運営
事業決算を認定

ケーブルテレビは75・8%から
92・3%に、インターネットは30
%から37・1%に加入率が増加。
400万円の基金を積み立ててい

る。

本会計決算は全会一致で認
定すべきと決した。

上郡町条例及び上郡都市計
画税条例の一部を改正

地方税及び関係法令が改正され
たことによる条文の整理。

当委員会は慎重審議し両案件
を全会一致で原案通り可決すべ
きと決した。

民生建設常任委員会

(9月9日開催)

平成22年度特別会計の決算を認定

○国民健康保険事業
○老人保健医療事業
○後期高齢者医療事業
○介護保険事業
以上多数決採決4対1

○水道事業
○簡易水道事業
○農業集落排水事業
○公共下水道事業
○公営墓園事業

以上全会一致
当委員会は未収金の更なる回
収に努力する等を申し添え、特
別会計9事業すべてを認定すべ
きものと決した。

千種川河川改修特別委員会

○千種川床上浸水対策特別緊急事
業(JR鉄橋付近から大枝新の大
持井堰までの河川工事)

〔質疑応答〕
問 工事が予定より遅れる箇所が
あるというが、国庫補助金に影響
は無いのか。

答 23年度予算を翌年度に繰り越
して執行するため影響は無い。

問 限見橋の供用開始が遅れる見
通しだが、地域公共交通事業の開
始に影響はないか。

答 現在光都土木事務所が正式に
遅れると言っているわけではない。
工事入札(9月)後、県と施行業
者で行う工事行程会議で明らか
なる。土木事務所には12月には竣
工するよう要請していく。

○千種川災害復旧等関連緊急事業
(大持井堰より町境までの河川改
修工事)

用地買収は面積比で57%が契約
済み、物件補償は4件が契約済み。
楠地区の河川対岸の用地立会
いは3ヶ月遅れで10月から開始の予
定。この地点の予定川幅を14.5
mにすると、山の土質、形状が悪

く崩壊の恐れがあり、ほぼ現在の
川幅に変更するよう佐用町側と調
整している。また、苔縄橋、苔縄
井堰は、地元との調整に時間がか
かり、工事開始が遅れる見込み。

〔質疑応答〕
問 佐用町との境付近の川幅は計
画通りにするべきではないか。

答 土木事務所は、その方向で検
討したが、現在の川幅のまま水
深を大きくする方が安全であると
判断した。

問 国道373号線側の山を削る
工法はどうか。

答 山が急傾斜であり、反対側を
拡幅する計画となった。373号
線側を拡幅することはできない。

問 赤松地区自治会の要望に対
してどのように回答するのか。

答 大持井堰の町管理については、
町管理に至った理由書を作成し、自
治会長を通じて地元民に周知する。
水路の通年通水は原則できない。

残土処分

光都土木事務所が潰合(楠地内)
に容量5万7000m³の残土処分
地を整備する。なお、進入道路部
分の用地は町が買収し、町道とし
て認定したい。

全員協議会報告

9月26日に全員協議会が開催され、各課が報告事項や本会議への提出予定案件の説明があった。

○金出地ダム工事継続 決まる

検討中の金出地ダムは国土交通省が補助金交付を継続することにした。

○乗合タクシーの利用 状況

8月1日に運行実験を開始した事前予約型乗合タクシーの8月25日現在の利用状況が報告された。1日当たりの平均運行便数は2便、1運行当たりの乗車人数は1.11人。

○楠・河野原地区農業 集落排水施設の機能 回復

千種川災害復旧等関連緊急事業に伴い、両地区の農業集落排水処理施設が移転対象に

なる。隣接の赤松・細野地区との統合により機能回復を図ることになった。

○学校給食センター建設について

センター候補地選定内部検討委員会（委員長：副町長）が、検討結果を報告した。



▶ 濁流の果てに（上郡橋から）

常任委員会 運営の変更

上郡町議会ではこれ迄各常任委員会の会議を議会開会中ばかりでなく議会前にも開催し、所管の各課が報告事項や本会議への提出予定案件の説明を行ってきた。開会前の委員会開催にたいする疑問については、予てより委員会の内部でも折にふれ話し合われてきた。

本来常任委員会の権限は議会の予備的審査機関として議案・陳情等を審査することであり、条例で定められたそれぞれの所管の議案陳情等について審査権を有する。ただ、会議規則の定める付託行為があつて始めてその権限を行使できる。

上郡町議会は平成20年の地方自治法の改正で、全員協議会が「議案の審査または運営に関し協議又は調整を行なう場」として法律上明確に位置づけられたことにより、議会議開会前の委員会開催をやめ、

全員協議会により町当局による事前説明及び意見の聴取を行なうことにした。従って「かみごおり議会だより」で

は従来の委員会報告は廃止し、全員協議会報告を新たに掲載する。

平成23年度予算の補正

（単位：千円）

会計名	補正前	補正額	補正後	主な補正理由	
一般会計	6,819,085	52,331	6,871,416	普通交付税額確定及び人事異動に伴う人件費の更正	
特別会計	国民健康保険事業会計（事業勘定）	1,746,159	23,594	1,769,753	国保総合システム導入に係るシステム開発委託料の増及びH22年度国庫負担金等による返還金等の増
	国民健康保険事業会計（直診勘定）	78,366		78,366	共済負担金率改定による人件費の増
	後期高齢者医療事業会計	212,190	230	212,420	広域連合納付金（滞納繰越分保険料）の増
	介護保険事業会計	1,330,809	△ 44	1,330,765	人事異動等による人件費の補正減等
	簡易水道事業会計	76,867	663	77,530	施設維持管理費及び石戸飲料水供給施設統合事業に伴う増減及びその財源として消費税還付金の増による一般会計繰入金、借入金の減
	農業集落排水事業会計	317,752	1,393	319,145	新規職員採用による人件費の補正
	公共下水道事業会計	815,019	16,548	831,567	上町ポンプ改修工事による整備事業費の補正
	ケーブルテレビ管理運営事業会計	61,862	23,335	85,197	平成22年度決算額確定による基金積立金の増額及び支障移転の事業費等の増に伴う補正

提出議案に対する表決

案 件	井口まさのり	橋本 正行	大政 正明	藤本ゆうき	阿部 昭	赤松 初夫	小寺 政広	沖 正治	田淵 重幸	村上 昇	工藤 崇
(* 印は各常任委員会に付託された案件)											
9月定例会											
起立による表決											
1	災害復旧等関連緊急事業により建設される赤松地区のポンプ揚水施設の管理の公平化について* (原案を語る)			○	○						欠
2	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充に関する件についての意見書*		○		○	○	○	○	○	○	○
3	上郡町教育委員会委員の任命につき同意を求める件	○	○		○	○	○	○	○	○	欠
4	上郡町道認定の件		○	○	○	○	○	○	○	○	欠
5	上郡町税条例の一部を改正する条例制定の件*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	上郡町都市計画税条例の一部を改正する条例制定の件*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	上郡町営住宅管理条例の一部を改正する条例制定の件		○	○	○	○	○	○	○	○	欠
8	上郡町体育指導委員設置条例の一部を改正する条例制定の件		○	○	○	○	○	○	○	○	欠
9	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定の件		○	○	○	○	○	○	○	○	欠
10	平成23年度上郡町一般会計補正予算の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	平成23年度上郡町特別会計国民健康保険事業補正予算の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	平成23年度上郡町特別会計後期高齢者医療事業補正予算の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	平成23年度上郡町特別会計介護保険事業補正予算の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	平成23年度上郡町特別会計簡易水道事業補正予算の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	平成23年度上郡町特別会計農業集落排水事業補正予算の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	平成23年度上郡町特別会計公共下水道事業補正予算の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	平成23年度上郡町特別会計ケーブルテレビ管理運営事業補正予算の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充に関する件についての意見書		○		○	○	○	○	○		○
簡易表決による可決・承認 (12議案)											
①健全化判断比率及び資金不足比率の報告の件②平成22年度一般会計決算認定の件*③平成22年度上郡町特別会計国民健康保険事業決算認定の件*④平成22年度上郡町特別会計老人保健医療事業決算認定の件*⑤平成22年度上郡町特別会計後期高齢者医療事業決算認定の件*⑥平成22年度上郡町特別会計介護保険事業決算認定の件*⑦平成22年度上郡町水道事業会計決算認定の件*⑧平成22年度上郡町特別会計簡易水道事業決算認定の件*⑨平成22年度上郡町特別会計農業集落排水事業決算認定の件*⑩平成22年度上郡町特別会計公共下水道事業決算認定の件*⑪平成22年度上郡町特別会計公営墓園事業決算認定の件*⑫平成22年度上郡町特別会計ケーブルテレビ管理運営事業決算認定の件*											
10月臨時会											
簡易表決による可決・承認 (2議案)											
①専決処分したものにつき承認を求める件 (平成23年度上郡町一般会計補正予算〈第4号〉) ②専決処分したものにつき承認を求める件 (平成23年度上郡町一般会計補正予算〈第5号〉)											

○印は採決でその議員が起立したことを示し、「欠」は採決に参加しなかったことを示す

一般会計決算認定

〔反対討論〕

工藤 崇

取組みに納得いかない点があるが、4点あり反対する。

1. 同和対策事業で住宅改修等の資金を対象地域の住民に貸し付けているが滞納整理が進んでいないこと。

2. 人権教育啓発事業は、廃止若しくは見直すべきこと。

人権啓発の名の下に同和問題を人権問題の中心のように位置付けて、事実上同和事業・同和教育を存続している。

3. 市街化地域の都市計画税に最高税率(100分の0・3)を課していること。

4. 安室ダム水道供給事業への負担軽減を国に働きかけるべきこと。

井口まさのり
すべての決算に反対する。理由は、地方自治会第233条第5項で求める主要な施策の成果を説明する書類の提出が不十分であること。

臨時会 (10月11日開催)

○議員(3名)の辞職に伴う副議長選挙、各種委員の選任が行われ、補正予算が提案された。

・副議長選挙結果

大政正明 5票

(有効投票数 8票)

・西播磨広域事務組合議会議員

井口まさのり

・環境保全審議会委員

井口まさのり

○選挙執行に伴う補正予算

・町長選挙600万円

・議会議員補欠選挙

220万円

新町長・新議員 決まる

○町長選挙当選者

工藤 崇

○補欠選挙当選者

梅田 修作

小原 潤一

中山 竹信



議会だより78号のトップページは、議会の様子をインターネットで視聴できるようにしたことでした。私のようなへそ曲がりには、議論の内容よりも、町長を始め議員や町職員の表情や仕草に目が行ってしまい、「真剣なやりとりが行われているな」とか、「眠そうでも聞いてないようやな」とか、勝手な受け止め方をしています。しかし、これも町民が議会や町の姿勢を監視できる貴重なツールになることは間違いありません。なによりも、インターネット上での視聴をたやすくするために、業者に発注して何十万円もかけるのではなく、町民からの知恵の提供によって実

現したという点が高く評価できました。

同時に一般質問欄にある「各種委員の選任」についても、町長から「的確な人材発掘に努める」との答弁が書かれていましたが、「学識経験者の登用増」だけにとどまらず、このような地元情報にアテナを高くする意識こそが、その実現への最短距離かと感じます。まだまだ多くの人材がありますよ、きっと。

次に、千種川河川改修特別委員会の報告欄を読んで一番に感じたことは、紙面の都合かもしれないですが、「環境」に対するやりとり等が全く見えないことに不満を感じました。「えっ、町としての環境対策や要望は上がっていないのだろうか?」。西播磨県民局が主催する「千種川委員会」では、10年近くを費やして「河川整備方針」や「河川整備計画」が検討されてきており、この9月にはまとめが完了します。川と谷で成り立つ上郡町にとって、千種川とそ

の支川の活用は、町全体の活性化に欠かせない財産だと思います。それだけに、上記委員会での議論の内容を、町議会や委員会レベルでどのように活かしていくか、今後さらに議論を高め、広く町民に知らせて頂きたいと感じました。

最後に、議会便りの一般質問欄を毎回読むことで、各議員の考えが見えてきます。今後もこの議会便りを通じて知っていかうと思えます。



議会活動報告 (6月~8月)

- (6月)
- ・議会運営委員会
 - ・上郡町青少年育成センター運営委員会
 - ・手をつなぐ育成会総会
 - ・なでしこ会総会
 - ・人権文化推進協議会定期総会
 - ・社会福祉協議会理事会
 - ・上郡町障がい者問題懇話会総会
 - ・農業委員会
 - ・広報調査特別委員会
 - ・上郡町地域公共交通会議
 - ・上郡町公共交通対策協議会
 - ・月例出納検査
 - ・兵庫県市町村職員年金者連盟上郡支部総会
 - ・社会を明るくする運動上郡実施委員会
 - ・千種川水系河川改修事業促進期成同盟監査
 - ・西播磨市町議長会役員会及び総会
 - ・赤穂食品衛生協会定期総会
 - ・全員協議会
 - ・広報調査特別委員会
- (7月)
- ・上郡町防犯協会総会
 - ・赤穂国際音楽祭
 - ・赤相農業共済事務組合議会臨時会
 - ・赤相建物農機具共済推進協議会通常総会
 - ・総務文教常任委員会
 - ・播磨高原広域事務組合定期監査及び決算審査
 - ・兵庫県町議会議長会研究会
 - ・兵庫県町監査委員協議会臨時総会及び研修会
 - ・安室ダム祭り
 - ・国道2号改修促進協議会通常総会
 - ・兵庫県支部相生地区警察官友の会通常総会

- ・社会福祉協議会理事会
 - ・広報調査特別委員会
 - ・農業委員会
 - ・月例出納検査
 - ・議会運営委員会
 - ・上郡町乗り合いタクシー出発式
 - ・上郡駅前広場完成・観光案内所竣工記念セレモニー
- (8月)
- ・決算監査
 - ・愛心園夏祭り
 - ・X線自由電子レーザー施設見学会
 - ・にしはりま環境事務組合議会運営協議会
 - ・播磨高原広域事務組合正副管理者・議長会
 - ・船坂地区盆踊り大会
 - ・播磨高原広域事務組合新都市協議会
 - ・播磨高原広域事務組合議会定例会
 - ・農業委員会
 - ・安全・安心のまち住民大会
 - ・西播磨親善体育大会
 - ・総務文教常任委員会
 - ・民生建設常任委員会
 - ・社会福祉協議会理事会
 - ・月例出納検査
 - ・にしはりま環境事務組合議会定例会及び全員協議会
 - ・千種川河川改修特別委員会
 - ・全員協議会
 - ・安室ダム水道用水供給企業団議会
 - ・都市計画審議会
 - ・はりま西森林組合総代会
 - ・議会運営委員会